

平成25年度
教育委員会の点検・評価
報告書

平成26年8月
あま市教育委員会

－ 目 次 －

1. はじめに
2. 教育委員会会議の開催状況
3. 教育委員会会議の審議状況
4. 教育委員会会議以外の活動状況
5. あま市教育立市プラン
6. 主な事業の取組状況
 - (1) 学校教育課
 - 教職補助員配置事業
 - 英語教育の推進
 - 教育相談センター事業
 - 小中学校適正規模等見直し検討事業
 - 人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）
 - 県委託事業
 - 特色ある学校づくり推進事業
 - あま教師塾
 - 教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業
 - 教師力パワーアップ研修
 - 学校支援会議
 - あまっ子宣言
 - 小中学校施設整備事業

(2) 生涯学習課

- 社会教育事業
- 公民館事業
- 成人式事業
- 家庭教育推進事業
- 青少年健全育成推進事業
- 人権教育推進事業
- 文化振興事業
- 歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業
- 社会教育施設整備事業
- スポーツ教室
- スポーツ行事・大会
- その他スポーツ事業
- 社会体育施設整備事業
- 美和文化会館事業
- 美和図書館事業

(3) 学校給食センター

- 学校給食事業
- 学校給食センター整備事業

7. 学識経験者による意見

1. はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部を改正する法律が、平成20年4月1日に施行され全ての教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされました。

あま市教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、「教育委員会点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2. 教育委員会会議の開催状況

平成25年度は定例会議を12回、臨時会議を1回開催しました。

(1) あま市教育委員会委員（平成26年3月31日現在）

職名	氏名	任期
委員長	ほりえ てつじろう 堀江 徹二郎	平成23年6月25日から平成27年6月24日
委員長職務代理者	おがさわら えいし 小笠原 英司	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成24年6月24日 平成24年6月25日から平成28年6月24日
委員	なんや えみ こ 南谷 恵美子	平成22年3月22日から平成22年6月24日 平成22年6月25日から平成26年6月24日
委員	よしだ のりよし 吉田 法良	平成25年6月25日から平成29年6月24日
教育長	まつなが ひろかず 松永 裕和	平成24年4月1日から平成26年6月24日

(2) 教育委員会会議等

開催日	開始時間	議案件数	報告件数
平成25年 4月23日(火)	午後2時	8	5
5月21日(火)	午後2時	8	3
6月24日(月)	午後1時	9	8
6月25日(火)	午後4時	2	0
7月26日(金)	午後2時	7	3
8月20日(火)	午後2時	6	12
9月24日(火)	午後2時	8	10
10月22日(火)	午後2時	5	7
11月19日(火)	午前9時30分	5	9
12月20日(金)	午後2時	8	8
平成26年 1月27日(月)	午後2時	5	12
2月28日(金)	午後2時	14	6
3月24日(月)	午後2時	10	6

3. 教育委員会会議の審議状況

12回の定例会では、「後援申請」、「就学援助費の受給審査」、「区域外就学、指定学校変更」、「教科用図書の採択」など93件の議案が協議され、活発な議論がなされました。

また、臨時会（平成25年6月25日開催）では、「教育委員会委員長の選出」など2件の議案が協議されました。

4. 教育委員会会議以外の活動状況

委員の活動状況は次のとおりでした。特に小中学校の行事に積極的に参加し、教育現場の実態把握に努めました。また、市長部局と連携し、予算の確保、議会答弁等市議会と積極的かつ綿密な関係を持ちながら様々な事業を展開しました。

○市議会関係	46回
○都市教育長会事業	17回
○海部地方教育事務協議会	8回
○学校行事	81回
○学校訪問	17回
○その他学校教育課事業	62回
○生涯学習課事業	48回
○学校給食センター事業	2回
○表敬訪問	10回
○その他の事業	63回

5. あま市教育立市プラン

あま市は、「教育立市」を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の子ども（「あまっ子」）の育成を推進しています。これらの考えをもとに、平成24年4月に策定した「あま市教育立市プラン」の見直し修正を行い、具現化を図るため、以下のような主要事業に取り組みました。

- スクールサポーター配置（全小中学校）
- 英語指導助手（ALT）配置（全小中学校（市雇用））
- 教育相談センター事業
 - ・教育相談（教育相談室）…臨床心理士、教育相談員、生徒指導支援員
 - ・教育アドバイザー派遣（全小中学校）
 - ・適応指導教室事業
- 人権教育の推進
- ドリームマップ作成事業（全小学校4年生又は5年生全員）
- 緑化事業（各小学校）
- 学習田（美和地区4小学校、甚目寺地区2小学校）
- いじめ・不登校対策協議会（含 学校支援会議）
- 教員研修「教師力パワーアップ研修」
- 特色ある学校づくり推進事業
- 教育人材バンクと出前授業
- あま教師塾
- 第Ⅰ・Ⅱ期 教育課題検討委員会

6. 主な事業の取組状況

(1) 学校教育課

■教職補助員配置事業

児童生徒の基礎学力の充実を目指し、T T (チーム・ティーチング) 指導を始めとする少人数指導による学習支援や障がいのある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援等を充実させるため、小中学校へ市雇用のスクールサポーターを配置しました。

- ・スクールサポーター 61人

※ きめ細かい少人数指導を実施し、それにより個に応じた指導を進めることができました。また、T T の授業を行うことで基礎学力の充実に寄与しました。

T T …担当の教師が進める授業に、教師と教職補助員がチームを組み、児童生徒の習熟度に合わせて教師を助力しつつ行う授業の形態のこと。

■英語教育の推進

児童生徒の外国語活動と国際理解教育の推進を図るため、邦人と外国人の非常勤講師を英語指導助手 (A L T) として各小中学校に配置し、次の内容を実施しました。

- (1) 中学校の英語科授業における英語指導
- (2) 小学校の英語活動における英語指導
- (3) 授業で使用する教材の作成
- (4) 教員に対する現職研修
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加
- (6) 研修やミーティングへの参加

- ・小学校：英語指導助手 7人(アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、日本)
- ・中学校：英語指導助手 4人(アメリカ合衆国)

また、市内外国語部会を年間3回開催し、各学校の外国語活動の取組について情報交換を行いました。10月には、教員のための研修として「担任と日本人英語教師 (J T E) またはA L T との効果的な進め方」を開催しました。

※ 各小学校では、A L T とのT T 指導による外国語活動を円滑に実施することができました。これにより、生きた英語に触れることはもとより、児童の外国語への意欲・関心を高めることができました。また、各中学校でも、A L T と英語教師によるT T 指導を行い、生きた英語が響く教室で、生徒は積極的に会話を交わすことができるようになりました。

新学習指導要領の実施に伴い外国語活動が始まり、より高い指導力の教育体制づくりを目指していきます。

■教育相談センター事業

教育相談センターは、「学校教育支援」・「教育相談活動」・「不登校などの指導及び支援」を三つの柱とし次の事業を実施しました。

○学校支援事業

学校における日々の指導の中で、子ども同士のかかわりや高まりを大切にしたい学級経営や授業の改善を進める必要があります。そこで校内における現職教育や「あま市教職員研修」の充実をめざして、「教育アドバイザーの派遣」と「教師力パワーアップ講座」を実施しました。

- ・教育アドバイザー派遣事業

各学校の教科指導、児童生徒の正しい理解を図るため、校内の現職教育の講師・助言者を外部から招聘しました。

・教師力パワーアップ講座

教員の力量向上を目指して年6回の講座と特別講座3回を実施しました。児童生徒の正しい理解を目指して、特別支援やカウンセリングのあり方から心の問題に迫る講義やリスクマネジメントや授業づくりに関する講義が行われました。

○教育相談事業

教育上の悩み、いじめ、不登校問題等の「相談活動」や学校が行う生徒指導等への援助、指導及び研修等の学校支援を行いました。

校長・教頭・学級担任・生徒指導主任・養護教諭など学校関係職員との話し合いの場をもち、市教育委員会・学校と連携を図りました。

【職員】	・教育相談員	1人
	・心理支援相談員	2人
	・生徒指導支援員	1人
	・親と子の相談員	1人
	・学校支援教育指導員	1人

【教育・心理 相談面接件数（巡回指導含む。）】

・保護者	282件	
・児童生徒	1,164件	
・教職員	813件	
・教室訪問	536件	合計 2,795件

○適応指導教室事業

心理的・情緒的な要因により、不登校の状態にある児童生徒を対象として、適正な相談・助言及び生活指導・学習指導を行い、自立及び学校生活への自発的復帰を支援しました。

【職員】	・専任指導員	1人
	・補助員	6人

【通室者】	・平成25年度適応指導教室の登録者数	28人
	・適応指導時間数	のべ3,326時間

※ 教育相談室、適応指導教室、学校支援室など学校教育活動の支援体制を充実することができました。中でも適応指導教室では、児童生徒に対し適正な指導や臨床心理士の専門員による心理支援相談及び保護者に対しての面接相談を実施することができました。

■小中学校適正規模等見直し検討事業

市内には17の小中学校があり、旧3町単位で実施していた学区をそのまま引き継いでいますが、児童生徒数の規模の面や通学距離の面で差が生じています。そのため、市民の意見を聴きながら学区の見直しの必要性を検証し、必要に応じて旧3町の枠組みにとらわれることなく学区の抜本的な見直しを行うことにより適正規模化を進めることに取り組みました。平成25年度は2地区で検討委員会を設置し、市民の意見を聴きながら検討をしました。

○甚目寺南小学校・甚目寺小学校地区委員会

・甚目寺南小学校の大規模校解消、教室不足対策として甚目寺南小学校の一部の

学区を甚目寺小学校の学区変更することについて検討

- ・地区委員会（４回開催）
５月２４日、７月１８日、１１月８日、１２月１８日
- ・アンケート調査の実施：８月２０日（本郷区）
- ・本郷区住民説明会の開催：１０月６日

○美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区委員会

- ・七宝北中学校の小規模校、美和中学校の大規模校解消に向けて美和東小学校の学区の一部を美和中学校の学区から七宝北中学校の学区に変更することについて検討
- ・地区委員会（４回開催）
５月２４日、８月２１日、１１月１８日、１月１４日
- ・住民説明会の開催（あわせてアンケート調査を実施）：１０月５日

※ 甚目寺南小学校・甚目寺小学校地区は、学区見直しに対する住民の理解を得ることが難しく、本郷区を対象とした学区見直しは中止と結論付けました。また、美和東小学校・七宝北中学校・美和中学校地区は学区見直しに対する問題点が山積していることが明確になり、もっと時間をかけて、また、美和東小学校区以外の学区も視野に入れて検討する必要性を認識しました。

２地区とも、学区の見直しについての方向性を見出せなかったものの、学校の適正規模等について、住民とともに検討するきっかけとなる事業を実施することができました。

■人権教育（あま市小中学校人権教育研究会）

あま市小中学校人権教育研究会は平成２５年度の研究主題を「人権尊重の確かな認識を培い、温かい人間関係を育む教育 ―教職員の研修を充実させ、実践的な行動力の定着を図るために―」として研究を進め、「自己実現を追求する活動を通して、人権尊重の教育」を推進しました。

- 会 長 甚目寺西小学校長
- 事業費 ８００，０００円（市補助金）
- 主な活動内容
 - ・海部地区人権教育講演会実施
 - ・全国人権・同和教育研究大会等参加
 - ・研究紀要の作成

※ 児童生徒が実践的行動力を身に付けるための研究を進めた結果、様々な活動を通じて、より良い人間関係の中で、互いの良さを認め合い、互いの存在の大切さにも気付けるようになりました。また、取り組みの継続によって実践的な行動力も着実に育まれてきました。

■県委託事業

学校活動を円滑かつ充実させるために次の事業を実施しました。

○あいち・出会いと体験の道場推進事業

愛知県の委託事業として、大人へと心身ともに大きく成長する思春期に、社会の成り立ちについての理解や、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなど、社会性をしっかりと身につけてもらうため全中学校の２年生を対象に実施しました。

- ・事業費 562,719円（うち県委託金 325,000円）・実施内容

学 校 名	参加生徒数	実 施 日	受 入 事業所数
七宝中学校	169名	10月17日、24日、25日	53か所
七宝北中学校	64名	5月28日～30日	18か所
美和中学校	218名	10月29日～31日	59か所
甚目寺中学校	225名	11月6日～8日	60か所
甚目寺南中学校	205名	11月12日～11月14日	41か所

※ 自立心と社会性が身につく、社会のマナーやルール、あいさつや言葉づかいの大切さなど社会性を学ぶことができました。また、今後の進路について、仕事の適性等将来を見据えた考えを持つことができました。

○夢をはぐくむ あいち・モノづくり体験事業

愛知県の委託事業として、子どもたちがモノづくりを直接体験するとともに、モノづくりの達人から話を聞くことで、働くことや学ぶことへの基盤づくりを図りました。

- ・事業費 60,000円（うち県委託金 60,000円）
- ・実施校 秋竹小学校
- ・実施学年 5・6年生
- ・体験内容 洋菓子づくり

※ 洋菓子づくりの達人を招き、クレープづくりの体験をしました。達人の「技」の素晴らしさに触れるとともに、達人の「思い」や生き方を学ぶことができ、自分の将来について真剣に考える姿勢がうかがわれました。また、地域にモノづくりの達人がいることを知り身近な地域に目を向けることができました。

○ことばの学習活性化推進事業

愛知県の委託事業として、言語活動指導者を招いて伝え合う力を高めるための授業づくりを推進しました。また、ことばの力の育成につながる授業づくりを通して、教師の授業力の向上を図りました。

- ・事業費 100,000円（うち県委託金 100,000円）
- ・実施校 篠田小学校
- ・事業内容 教員向け研修会の実施
言語活動にかかわる講演会の開催
言語活動にかかわる掲示物等の開発

※ 外部講師の指導による児童の伝え合う力を高めるための授業研究と研究協議会を実施し、児童の実態に即した協議を行い、有効な手立てについて検討することができました。また、講演会では言語活動を活性化するための環境や学級経営について学ぶことができました。

○道徳教育総合支援事業

愛知県の委託事業として、児童生徒の心に響く道徳教育の指導のあり方について研究を深めました。

- ・事業費 180,000円（うち県委託金 180,000円）
- ・実施校 甚目寺南中学校

- ・対象学年 全学年
- ・事業内容 道徳の授業実践
外部講師を招いた校内研修
読み物資料や心のノートの活用

※ 外部講師による道徳の授業参観と分析を行い、資料提示のしかたや発問の言葉の選び方等について意見交換をしました。また、道徳教育用教材として、新たな読み物資料を用いてその指導方法について研究を進めます。

■特色ある学校づくり推進事業

- ・事業費 6,353,134円（全小中学校合計）
- ・実施校 全小中学校

この事業は、各学校で話し合われた夢を実現し、魅力ある学校づくりを目指し、従来の市内一斉横並びの学校づくりではなく「やれる学校から やれることから」を始める事業となっています。

7月に事業の進み具合のヒアリングを学校で行い、11月には翌年度の事業についてプレゼンテーションを実施する審査会を開催しました。大学より有識者を招き、事業の方向性についてのアドバイスをいただきました。審査会の結果に基づき、予算案の作成を進めました。事業の主なものについては次のとおりです。

- (1) 教師の資質向上を図り学校の教育力を高める事業
- (2) 子どもの基礎学力向上を図り確かな学力を育成する事業
- (3) 豊かな心づくりとたくましい体力づくりに関する事業
- (4) 学校を開き、家庭・地域・学校が連携し「地域に密着した学校づくり」に関する事業
- (5) 授業外の特別活動や課外活動など学校行事への参加

審査会を実施することで、限られた市の予算をより熱い思いの事業、特色ある学校づくりの活きた財源となるように配分しました。学校と市教育委員会の思いの共有化を図り、魅力ある学校づくりをめざし、新たな教育実践を推進していく話し合いの場として今後も進めていきます。

※ 2年目を迎え、各学校がそれぞれの特色を打ち出し、児童生徒の心に響く活動に取り組むことができるよう、学校の発想・裁量・自主性を醸成する事業として定着しつつあり、学校の主体的な創意工夫による特色づくりを支援することができました。

■あま教師塾

市教育委員会では、平成24年度から、あま市内の小中学校の新任から2年目・3年目の教職員を対象として、自主的な研修活動を行うため「あま教師塾」を設置しました。平成25年度からは、期限付任用教員（期付）・派遣非常勤講師（非常勤）・臨時的任用教員（臨任）もこの塾に参加できることとし、教師力の向上を進めます。

あま教師塾では

- ・授業づくり・学級づくりに関する研修
- ・児童生徒や保護者との対応に関する研修
- ・カウンセリングや特別支援に関する研修
- ・喫緊の教育課題に関する研修

などを取り上げ、座学だけでなくグループ・ワーク等を実施しています。あま教師

塾の企画・運営は、市内の校長・教頭・教務主任の代表と市教育委員会事務局に勤務する者とで運営委員会を構成し、実施しています。

※ 市内の若手教職員の研修活動を支援することができました。1年を通して9回の研修活動を行い、教師としての成長を感じました。

■教育人材バンク「学びの道の案内人」と出前授業

市教育委員会では、平成24年度に教育人材バンクを制度化しました。教育人材バンクは、あま市における学校教育の充実を図ると共に、文化・スポーツ等の各分野において、知識・技能及び指導力を有する人材を登録し、学校が必要とする人材に関する情報を提供するために設置しました。教育人材バンクに登録する者は、講師及び学校支援ボランティアとし、次の活動を行うものとしています。

- (1) 講師は、登録された分野に係る指導、講座の実施等を学校の依頼に応じて行うものとする。
- (2) 学校支援ボランティアは、学校の依頼に応じて、登録された分野や学校行事等学校教育活動に係る支援を行うものとする。

平成25年1月末までに、各学校が教育人材に関するリストを提出し、このリストを基に、登録申請の受付をし、人材バンクの登録確認を行いました。

今後は、尚一層、人材バンクの人員を増やしていく予定です。

また、人材バンクと併せて「あま市ものしりジュニア検定」、「昔のくらしと道具」などの出前授業を全ての学校（52回の出前授業）で実施し、人材バンクの普及に努めました。さらに小学校理科出前授業を5校で実施しました。

※ 地元の人材を掘り起こし、有効活用を図る教育人材バンクの設置、及び出前授業の実施は、地域に密着する市民協働のまちづくりの第一歩として効果を上げる事ができました。また、ふるさと学習を通して、郷土愛を育てる教育活動を推進していきます。

■教師力パワーアップ研修

平成23年度から始まった教師力パワーアップ研修は3年目を迎えました。平成25年度は講座にテーマを設定し、校務分掌等がかかわりのある教師に参加を依頼しました。日頃いろいろな問題に出会い、教師としてその解決に戸惑う場面に突き当たることが多くあり、そのような時、自信をもって立ち向かうことができる力を身につけることがこの講座のねらいです。講座の内容は次の通りです。

回数	研修内容	講師
1	危機管理と管理危機について	元豊田市立竜神中学校長 平野敬一氏
2	健常児の中での障がい児の指導について	小牧市教育委員会 山本順大氏
3	楽しい理科実験	愛知淑徳大学教授 佐藤成哉氏
4	学校生活の中の遊び	子育てネットワーク 志村貴子氏
5	子供の観察の仕方	前蟹江中学校 養護教諭 市川 緑氏
6	持続可能な開発のための教育(ESD)とは	EPO中部 新海洋子氏

特別講座

1	教育法規からみた学校管理について	教育委員会 担当者
2	教育論文の書き方	教育委員会 担当者
3	公文書の書き方	教育委員会 担当者

※ 教員の資質や力量の向上のため、校内では十分に行うことのできない研修について補充・充実を図ることができました。

■学校支援会議

市教育委員会では、平成24年度から、「あま市学校支援会議」を開始しました。

この会議は、「いじめ」、「不登校」、「問題行動（暴力行為などの触法行為）」、「自殺及び自殺未遂」、「児童生徒虐待」など緊急性を要する問題が学校で発生した際、校長が家庭・地域・外部の専門機関の力を借りて問題を解決したいと判断した時に、「あま市学校支援会議（略称 緊急ケース会議）」を校長は市教育委員会に要請するもので、学校の抱える問題に対し、次のとおりきめ細やかに対応する仕組みをつくることをねらいとしています。

①家庭への働きかけや保護者に対する指導

②学校以外の専門機関（病院・警察）・学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員・区長）との連携や協力要請

③緊急事項に対する学校対応の方針づくり

この会議をあま市における学校関係者会議として位置づけています。

・「緊急ケース会議」のメンバー

緊急性を要する問題が起きた学校の教職員（校長・教頭・教務・校務・養護教諭・スクールカウンセラーなど校長が参加した方が良いと考える教職員）

・校長の要請に応じて教育長が招集をかけるメンバー

(1)あま市教育委員会（指導主事など）

(2)あま市教育相談センター（臨床心理士・教育相談員など）

・会議の必要に応じて招集するメンバー

(3)海部児童・障害者相談センター

(4)警察関係者

(5)学校関係者（民生児童委員・主任児童委員・保護司・学校評議員）

(6)学校医・学校歯科医・あま市民病院

(7)あま市役所関係各課

※ 緊急を要する問題が発生した場合に、教育委員会・学校・地域社会が一体となって迅速に対応できる体制を確立したことは画期的で、地域に密着した学校づくりを進めることができました。

■あまっ子宣言

あま市の子どもたちの行動指針となる「あまっ子宣言」を、市内の小中学校生から標語を募集し、6つの宣言文を作成しました。

※ あまっ子の行動指針ができました。「あまっ子宣言」の啓発実践に取り組んでいきます。

■小中学校施設整備事業

安全・安心で快適な教育環境を整えるために次の整備工事を行いました。

○あま市内9小中学校非構造部材耐震改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

平成22年3月文部科学省作成、「地震による落下物や転倒物から子どもたちを守るために」～学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック～に基づき調査を行い、外壁及び窓ガラス改修工事をしました。

- ・事業内容 外壁改修及び飛散防止フィルム貼り等
- ・事業費 557,550,000円

※ この改修工事を実施することにより、児童生徒が安全安心に使用できる校舎の整備を進めることができました。

○七宝小学校家庭科室改修工事

七宝小学校の家庭科室は、建設以来改修等を実施しておらず、設備及び備品の劣化が著しいことから、児童の安全な学習環境を確保していくために、取替工事を行い施設整備に努めました。

- ・事業内容 教職員及び児童用の実習台計10台取替
- ・事業費 2,175,600円

※ この改修工事を実施したことにより、児童が安全安心に使用できる家庭科室の整備を進めることができました。

○七宝中学校エレベーター改修工事（学校施設環境改善交付金事業）

設置後30年以上が経過する給食用昇降機は、部品の消耗劣化が進み誤作動の可能性もあるため、事故が発生する前に改修し施設整備に努めました。

- ・事業内容 エレベーター改修工事
- ・事業費 14,964,600円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

○七宝地区小中学校温水器設置工事

給食用のお茶を作るための給湯器が故障しており、飲料用の湯及び茶が作れない状態であったため、児童生徒の水分不足等に対する健康管理面の改善を目的とし設置工事を実施し施設整備に努めました。

- ・事業内容 温水器設置工事
- ・事業費 3,553,200円

※ この改修工事を実施したことにより、健康管理面の改善することができました。

○防球ネット改修工事

防球ネットのコンクリート柱が経年劣化により亀裂等が入っていたため、災害対策も含め、生徒の安全を考慮し改修を行うことで、安全で安心な学校として使用できることを目的とし改修工事を行いました。

①七宝中学校

- ・事業内容 既存低コンクリート柱の撤去及びネット張替え
- ・事業費 4,137,000円

②七宝北中学校

- ・事業内容 コンクリート柱の撤去新設及びネット張替え
- ・事業費 13,923,000円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

○秋竹小学校エレベータ改修工事

配膳用エレベータの表示機器が故障したため、安全に使用できる状態を維持できるように取替工事を行いました。

- ・事業内容 表示機器の取替等部品交換
- ・事業費 1,281,000円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

○甚目寺東小学校校舎屋上防水等工事

経年劣化により校舎屋上のコンクリートに亀裂が入っており、4階天井部に雨漏りが起こっていたため、屋上防水工事を実施し施設整備に努めました。

- ・事業内容 屋上防水工事
- ・事業費 14,700,000円

※ この改修工事を実施したことにより、防水効果の改善、耐久性の向上等の整備を進めることができました。

○公共下水道接続工事（学校施設環境改善交付金事業）

甚目寺南小中学校地区は、平成23年度より公共下水道の供用開始区域となっているため、下水道への接続工事を行いました。

①甚目寺南小学校

- ・事業内容 公共下水道への接続工事
- ・事業費 16,800,000円

②甚目寺南中学校

- ・事業内容 公共下水道への接続工事
- ・事業費 8,085,000円

※ この接続工事を実施したことにより、環境配慮及び衛生的な学校の整備を進めることができました。

○美和小学校放送設備改修工事

校舎放送設備は昭和60年、体育館音響設備は昭和55年に設置され修繕を繰り返して使用してきましたが、現在では交換する部品もない状況であるため全面的に改修しました。

- ・事業内容 AV調整卓、デジタルミキシング取替工事
- ・事業費 7,024,500円

※ この改修工事を実施したことにより、放送設備の整備を進めることができました。

○正則小学校ガス管取替工事

正則小学校地内に埋設されているガス管のうち一部に亜鉛メッキ鋼管が使用されていたため、安全に使用できる状態を維持できるよう取替工事を行いました。

- ・事業内容 ガス管取替工事
- ・事業費 1,824,900円

※ この改修工事を実施したことにより、安全・安心な学校の整備を進めることができました。

(2) 生涯学習課

■社会教育事業

市民の自発的な学習意欲を喚起するとともに、学習の機会を提供しました。

○社会教育事業

下記のとおり市民大学講座を開催し、多くの参加を得ました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
市民大学講座	一般	6回	30名	30名	69名

美和公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
市民大学講座	一般	6回	25名	25名	55名

※ 市民大学講座を通じて、幅広い知識を学ぶことができました。また、市民と市民の繋がりを深めることができました。

■公民館事業

市民の学習ニーズにあった学習の機会を提供し、知識や趣味を広げるきっかけ作りとしました。

○親子ふれあい講座

下記のとおり小学生の親子対象の講座を開催し、共通の話題作りの機会としました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
親子お菓子作り講座①	親子	1回	18組	16組(33名)	16組(33名)
親子お菓子作り講座②	親子	1回	18組	18組(40名)	18組(40名)
親子お菓子作り講座③	親子	1回	18組	10組(21名)	10組(21名)
親子お菓子作り講座④	親子	1回	18組	7組(15名)	8組(17名)
親子パン講座①	親子	1回	12組	12組(25名)	12組(25名)
親子パン講座②	親子	1回	12組	8組(16名)	8組(16名)
親子フラワー講座①	親子	1回	18組	9組(17名)	9組(17名)

親子フラワー講座②	親子	1回	18組	19組(33名)	19組(33名)
親子ダンス講座	親子	1回	18組	7組(14名)	9組(18名)

○公民館講座

下記のとおり各種講座等を開催し、市民が知識や趣味を広げる機会や場を提供しました。

七宝公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
パン作り教室①	一般	5回	36名	36名	46名
パン作り教室②	一般	5回	36名	35名	35名
笑顔の表情筋トレーニング	一般	5回	20名	20名	53名
ストレッチ&エクササイズ	一般	7回	20名	20名	55名
楽しく学ぶ英会話レッスン (初級クラス)	中学生以上	5回	15名	15名	15名
暮らしのマナー講座	一般	5回	20名	20名	27名
暮らしを彩るトールペイント	一般	3回	15名	15名	22名
クリスマスケーキ作り(託児付)	一般	1回	36名	36名	74名
ワード初級	一般	6回	15名	15名	17名
ワード中級	一般	10回	15名	15名	21名
エクセル初級	一般	6回	15名	15名	18名
エクセル中級	一般	10回	15名	15名	19名

美和公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
みんなで「アハハ」笑いヨガ	一般	5回	20名	20名	37名
簡単似顔絵講座	一般	5回	15名	15名	32名
世界の料理 作りくらべ・食べくらべ	一般	5回	24名	15名	19名
楽しく学ぶ英会話レッスン (中級クラス)	中学生以上	5回	15名	15名	15名
国際交流講座～世界の文化を学ぼう～	一般	5回	20名	20名	23名
基本のソース・たれを使った野菜たっぷり料理(託児付)	一般	5回	25名	25名	32名
チェアエクササイズ講座	一般	5回	20名	18名	18名

甚目寺公民館

講座名	対象	回数	定員	受講者数	申込者数
心を刻む「遊印」講座	一般	6回	20名	13名	13名
陶芸教室（託児付）	一般	6回	20名	20名	38名
食品サンプル作り①	親子	1回	10組	6組	6組
食品サンプル作り②	親子	1回	10組	4組	4組
子ども理科教室	小学生	1回	15名	15名	21名
子どもパソコン教室	小学生	1回	10名	10名	10名
楽しく学ぶ英会話レッスン 〈上級クラス〉	中学生以上	5回	15名	14名	14名
ポーセラーツ講座～おしゃれなティーセットを作る～	一般	3回	20名	13名	13名
上手に書けるボールペン・筆ペン教室	一般	3回	15名	15名	65名
着物の着付けと装い（託児付）	女性	5回	25名	25名	25名
ちょっと変わったレザークラフト講座	一般	5回	10名	10名	13名
乳児健診読み聞かせボランティア養成講座	一般	3回	15名	11名	11名

○公演・イベント・図書室事業

下記のとおり親子対象の事業を実施し、親子のふれあいの場を提供しました。

事業名	事業内容	開催日時	会場	入場者
親子ふれあい映画会	「カンフーパンダ2」 上映	平成25年8月24日(土) 午後2時～	七宝公民館 講堂	83名
	「マジック・ツリーハウス」 上映	平成25年5月18日(土) 午前10時30分～	甚目寺公民館 大ホール	200名
親子人形劇鑑賞会	人形劇団「むすび座」公演 ・「おむすびころりん」 ・「こわがりうさぎホッペル」	平成26年2月8日(土) 午前10時30分～	甚目寺公民館 講義室	70名
親子ふれあい音楽会	・「ワシントンポスト」 ・「アブラハムには7人の子」 ・「童謡メドレー」他	平成25年8月18日(日) 午後2時～	七宝公民館 講堂	176名
	・「星に願いを」 ・「ミッキーマウスマーチ」 ・「となりのトトロメドレー」他	平成26年2月1日(土) 午後2時～	美和文化会館 大ホール	374名

図書室事業	読み聞かせ	毎週土曜日(第2除く) 40回/年 午後2時～午後2時30分	甚目寺公民館 図書室	189名
	紙芝居	第2土曜日 12回/年 午後2時～午後2時30分	甚目寺公民館 図書室	72名

○パソコン相談室

・甚目寺公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

実施回数	22回
五条高等学校パソコン部委託分	10回
甚目寺パソコンクラブ委託分	12回

・七宝公民館

パソコン講習のフォローアップ及びパソコンに関する質問への回答など、パソコンをより身近な道具として、操作に慣れていただくよう実施しました。

現在七宝地区の住民の方2名のボランティアの協力により実施しています。

実施回数	24回
------	-----

※ 講座を通じて自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。また親子対象の事業では、共通の話題ができ、親子のふれあいを深めることができました。

■成人式事業

成人の日を迎えたことをお祝いし、これから一層成長されることを願って、市と市教育委員会の共催により実施しました。

・日時及び場所：平成26年1月12日(日)＜第2日曜日＞

午前10時～午前11時、美和文化会館大ホール

午前10時～午前11時、甚目寺公民館大ホール

・行事の内容：式典、成人式実行委員会企画

・記念品：写真立て

・新成人：平成5年4月2日～平成6年4月1日生れ

・対象者：市内795人(男性422人、女性373人)

市外参加希望者51人(男性29人、女性22人)

・参加者：613人(男性334人、女性279人)＜参加率約72.5%＞

※市外参加希望者を含む

※ 2会場での開催でしたが、新成人の代表者により、受付、司会等が行われ、感動的な式典となりました。

■家庭教育推進事業

都市化や核家族化が進み、母親は身近な子育てモデルもなく、育児不安やストレスを抱えています。親同士のつながりや子育てについての知識を広げることができるよう、幼児期家庭教育講座を開催しました。

○幼児期家庭教育講座

講座名	開催場所	受講者数
消防署へ行こう！ ～消防署見学と応急手当～	海部東部消防署	15組（41名）
親子で工場見学 ～七宝みそ・醤油蔵元～	七宝公民館	11組（21名）
親子で野菜作りPART7	あま市二ツ寺地内	18組（45名）
ドロンコ遊びをしよう	あま市二ツ寺地内	28組（78名）
小児科のお医者さんと話そう ～子どものアレルギーについて～	甚目寺公民館	19名
おやこであ・そ・ぼ ～パパと一緒にダイナミックに～ ※1歳児向け	美和公民館	7組（20名）
おやこであ・そ・ぼ ～パパと一緒にダイナミックに～ ※2・3歳児向け	美和公民館	4組（10名）
赤ちゃんと一緒にベビーダンス	七宝児童館	12組（24名）
	美和公民館	9組（18名）
	甚目寺公民館	8組（16名）
子育てママのリフレッシュ講座 ～ママへのご褒美～ プチネックレスを作りましょう	七宝公民館	6名
ガラスエッチングとリサイクルのお話	美和公民館	10組（13名）
開催！芋ほり祭り	あま市二ツ寺地内	15組（52名）
防災のお話 ～今からできる備え・家庭でできること・・・乳幼児のいる家庭編～	甚目寺公民館	10名
食育講座 ～クリスマスを食べよう～ ①	美和公民館	8組（16名）
食育講座 ～クリスマスを食べよう～ ②	美和公民館	9組（18名）
子育てママのリフレッシュ講座 ～クリスマスキャンドルを作りましょう～	甚目寺公民館	12名
育メン講座 ～パパといっしょにクッキン～	七宝公民館	8組（24名）

凧を作って遊ぼう①	七宝焼アートヴィレッジ	17組 (55名)
凧を作って遊ぼう②	七宝焼アートヴィレッジ	10組 (29名)

○家庭教育学級

急速な社会情勢の変化により、子どもたちを取り巻く家庭環境は大きく変化しつつあり、家庭教育のあり方が重要課題となっています。各小中学校において家庭教育学級を開催し、小中学校PTA関係者が一堂に会し、共に家庭教育について考える機会を提供しました。

【各小中学校委託】45事業（小学校12校、中学校5校）

○「子育てサロン」

七宝公民館和室・甚目寺公民館談話室に「飲食ができるスペース」、「子どもを遊ばせることができるスペース」をつくり、子どもや保護者たちが集える場を提供しました。

・七宝公民館（8・12月を除く月2日間 午前10時～午後0時30分）

開催日数 延べ20日

参加者数 延べ88組188人

・甚目寺公民館（8・12月を除く月3日間 午前11時～午後2時）

開催日数 延べ30日

参加者数 延べ164組345人

※ 参加者が子育ての知識を得るとともに、親同士のつながりを持つことができ、今後の子育ての問題解決の糸口となりました。

■青少年健全育成推進事業

青少年が心身ともにたくましく成長することを願い、非行防止や保護など、青少年の健全な育成を図るため、下記の事業を実施しました。

○夏季街頭パトロール活動

平成25年7月19日（金）～8月27日（火）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○「第1回あまつり2013」夜間街頭パトロール活動

平成25年8月17日（土）、会場となった七宝焼アートヴィレッジ周辺の街頭パトロールを行いました。

○街頭啓発活動

平成25年10月5日（土）、あま市民活動祭において、啓発資材（ストラップ付ボールペン、野菜の種）の配布を行いました。

○冬季街頭パトロール活動

平成25年11月29日（金）～平成26年3月14日（金）の間において、市内小中学校教員、PTA役員と協力して市内の街頭パトロールを行いました。

○中学校卒業式前夜パトロール活動

市内各中学校卒業式（3月6日）の前夜の平成26年3月5日（水）、校内及び

会場周辺の街頭パトロールを行いました。

- ※ いじめ問題に悩む子ども、非行に走る若者など困難な状況を抱える青少年を支援し、子ども・若者の自立を育むべく多様な交流の機会ができました。そして、大人として青少年の健全育成のためにどのような事ができるかを考える契機となりました。

■人権教育推進事業

市民一人ひとりの人権が尊重される社会を実現するために、市民が参加しやすい講演会を実施し、人権に対する正しい理解や行動を育む教育・啓発活動の推進を図りました。

○海部地区人権教育講演会(共催:あま市小中学校人権教育研究会)

人権問題に係る正しい認識と理解を深めることを目的として、他市町村の方へも広く参加を呼びかけ、実施しました。

- ・日 時：平成25年8月2日(金) 午後2時～午後4時
- ・場 所：甚目寺公民館大ホール
- ・講 師：辛 淑玉 氏

人材育成技術研究所所長

- ・演 題：「人権力を養う ～想像力を広げる視点～」
- ・参加者：549人(対象/市内小中学校教職員、PTA関係者、海部地区小中学校教職員他)

- ※ 講演を通じて、多くの方が人権に対する正しい理解を得ることができました。

■文化振興事業

市民が芸術や文化にふれる機会や芸術・文化活動の発表の機会の充実を図りました。

○第4回あま市文化祭(あま市文化協会主催)

あま市文化祭は、あま市文化協会が主催し、あま市の補助金を活用して、市民及び文化・芸能団体に発表の機会を提供するとともに、文化・芸能に係る資質の向上を促し、市民のより豊かな生活の実現を目指し開催しました。

- ・作品展示、生花展示、芸能発表会、茶会

日 時：平成25年11月2日(土)、3日(日) 午前10時～午後4時

会 場：七宝公民館、甚目寺公民館及び美和文化会館

参加者数：作品展示 文化協会36団体623名、一般参加66名

芸能発表会 文化協会51団体703名、一般参加3団体72名

- ・第4回あま市民囲碁大会

日 時：平成25年11月10日(日) 午前9時～午後5時

会 場：甚目寺公民館

参加者数：文化協会3団体50名、一般参加4名

- ・第4回あま市民将棋大会

日 時：平成25年11月10日(日) 午前9時～午後5時

会 場：美和文化会館

参加者数：文化協会3団体37名、一般参加6名

- ※ 参加者にとっては発表の場、来場者にとっては文化活動に触れる機会をより多く提供できたことは文化振興の一助となりました。

■歴史民俗資料館及び文化財保護啓発事業

市民一人一人の文化財への理解と保護意識の普及と向上を目指し、歴史民俗資料館ほか、市内各地にて各種事業を実施しました。

○企画展示会

下記のとおり、美和歴史民俗資料館等にて企画展を実施、市内外より多くの来館者があり、広く市の歴史文化をPRすることができました。

企画展名	開催場所	開催期間	入場者数
郷土の文化人作品展 ～江戸時代、海部地域の顔ぶれは～	美和歴史民俗資料館	4/28～6/30	650名
ときのきねんび展	美和歴史民俗資料館	6/1～6/30	2,200名
近代海部郡誕生100年記念展 ～海部の産業を見る～	美和歴史民俗資料館	10/19～11/24	380名
春の企画展 ～浮世絵に見る戦国武将の姿～	美和歴史民俗資料館 甚目寺歴史民俗資料館	2/22～3/30	150名

○歴史散策事業

市内各地で執り行われる祭事、史跡や文化財をめぐる散策により、市の歴史文化を認識する機会を提供しました。

事業名	散策地	開催日	参加者数
歴史散策講座 (アルケミスト)	蜂須賀周辺と来迎会见学	4/21	20名
	花正観音堂と二ツ寺周辺	5/21	22名
	篠田の神社とその周辺	3/15	18名
近代海部郡誕生100年記念 「海部一周ウォーキング」 一筆書きで行こう	愛西市役所 ⇒ 弥富資料館	10/27	延べ160名
	蟹江町役場 ⇒ 甚目寺観音	11/17	
	甚目寺観音 ⇒ 愛西市役所	11/24	

○水文化継承事業（エコきっず調査隊）

地元の川や生物を調べることにより、あま市の水文化（田んぼ）の役割と地域と水との関わり合いを知る機会を提供しました。対象は小学生。

内容	開催日	参加者数
田んぼの学校 (宮田用水土地改良区の協力)	7/6	延52名
川について	8/2	
身近な河川の水質調査	8/9	
エコきっずサミット参加 (会場：蟹江歴史民俗資料館)	8/16	

○講演会事業

市内、海部地域の歴史文化に特化した講演会を開催し、当地域の知られざる歴史文化を多くの市民に認識する機会を提供しました。

事業名	講師/演題	開催日 及び場所	参加者数
海部郡誕生100年記念講演会	講師：白駒妃登美氏 演題：「人生に悩んだら日本史を聞こう」	10/19 美和文化会館	460名
海部歴史講演会	講師：溝口常俊氏、鬼頭剛氏 演題：「海部津島の原風景を探る」 ～地形と土地利用について～	2/23 美和文化会館	160名
歴史文化講演会	講師：竹田繁良氏 演題：「昭和の写真集の作り方」 ～昭和アルバム 稲沢・清須の昭和をもとに～	3/14 美和歴史民俗資料館	25名
	講師：小林奈央子氏 演題：「尾張の人々と木曾の御嶽さん」 ～そのめぐみと信仰～	3/18 美和歴史民俗資料館	33名
地域デビュー講座 (カタロマイ)	講師：美和歴史民俗資料館職員 演題：「セピア色のあま市を語る」	6/22 甚目寺歴史民俗資料館	10名
	講師：小島克彦氏 演題：「俳人小島如水が見た疎開先での日々」	11/30 甚目寺歴史民俗資料館	13名
	講師：堀精宏氏 演題：「二ツ寺神明社古墳を考える」	1/19 美和歴史民俗資料館	20名

○文化体験講座

下記のとおり各種講座等を開催し、多くの参加を得ました。

講座名	講師	開催期日	場所	受講者数
坐禅に学ぶ	山田泰信氏 (菊泉院住職)	11月～12月(4回)	菊泉院	18名
梵字を学ぶ	坂野元昭氏 (寶泉寺住職)	1月～2月(4回)	甚目寺歴史民俗資料館	21名
古文書解説講座	藤井智鶴氏	6月～12月(10回)	甚目寺公民館	18名
しめ縄教室	竹田武夫氏	12月22日	美和歴史民俗資料館	20名

○出前授業

歴史民俗資料館の収蔵品を資料として、昔のくらしと生活道具について出前授業を実施しました。子どもたちに当地域のかつての暮らしぶりを伝え、考えてもらう機会を提供しました。

- ・実施校：市内全小学校
- ・対象：小学3年生
- ・資料：蚊帳、箱膳、ひのし、柱時計、焙烙、わらぐつ、酒徳利、尋常小学校教科書など16点ほど

○検定事業

検定を通してあま市の歴史文化を多くの人々に、主体的に学んでもらう機会を提供しました。

(1) 第2回あま市ものしりジュニア検定

- ・実行委員長 渡辺幸人 氏
- ・日時：平成26年2月8日(土) 午前10時～
- ・会場：美和公民館、甚目寺会館、七宝総合体育館、七宝中学校
- ・受検者：140名
- ・合格者：65名
- ・合格率：約46.4%

(2) 第4回あま市ものしり検定（初級編・上級編）

- ・実行委員長 浅井厚視 氏
- ・日時：平成26年2月9日(日) 午後2時～
- ・会場：美和文化会館
- ・受検者：34名（初級編：12名、上級編：22名）
- ・合格者：18名（初級編：8名、上級編：10名）
- ・合格率：初級編 約66.7%、上級編 約45.5%
- ・備考：1月26日（土）に七宝焼アートヴィレッジ交流ホールにおいて、対策講習会を実施、参加者25名

○文化財保護事業

第59回文化財防火デー・甚目寺観音消防訓練

- ・日時：平成26年1月24日(金) 午前10時～午前11時
- ・参加者：海部東部消防署 20名、市消防団 8名、甚目寺観音自衛団 8名
- ・その他：甚目寺小学校 4年生が訓練の様子を見学した後、消防車両の説明を受けました。

○刊行物

あま市の文化財や歴史を紹介するため、下記の刊行物を発行し、地域の魅力について情報を発信しました。

タイトル	内容	備考
あま市ものしり読本版	あま市ものしり検定テキストの改訂版	A4版、78頁 1,000部
あま市ものしり読本ジュニア版テキスト	あま市ものしりジュニア検定テキストの増刷	A4版、80頁 1,200部

資料館だより ニューズレター004号	歴史民俗資料館事業報告、つまみぐい 郷土史など	A4版、8頁 2,000部
-----------------------	----------------------------	------------------

※ 歴史・文化・伝統の学習の場を設けることにより、郷土への理解と郷土愛を育む契機となりました。また、消防訓練の実施により、文化財保護意識の高揚の一助となりました。

■社会教育施設整備事業

生涯学習活動拠点となる公民館の整備・充実を図るために次の整備工事を実施しました。

○美和公民館ガス管入替工事

美和公民館への引き込み部分と調理室のガス配管を亜鉛メッキ鋼管から硬質塩化ビニル被覆鋼管などに取替える工事を実施しました。

- ・事業内容 引き込み部分及び調理室のガス配管の入れ替え
- ・事業費 1,296,750円

※ この工事を実施したことにより、公民館利用者の安全を図ることができました。

○碓目寺公民館大ホール照明設備更新工事

既存の照明設備は昭和59年度の開館当時の設備で、機器の耐用年数が超過し、また補修部品の供給停止により、故障発生の際には使用停止となる恐れが生じていたため設備の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 ボーダーライト、音響反射板ライト、ピンスポットライト、調光操作卓、舞台袖操作器の更新
- ・事業費 28,665,000円

※ この工事を実施したことにより、照明設備の機能維持と施設利用者の利便性を図ることができました。

○碓目寺公民館大ホール音響設備更新工事

既存の音響設備は昭和59年度の開館当時の設備で、機器の耐用年数が超過し、また補修部品の供給停止により、故障発生の際には使用停止となる恐れが生じていたため設備の更新工事を実施しました。

- ・事業内容 音響調整卓、スピーカー用アンプ、インカム設備の更新
- ・事業費 11,025,000円

※ この工事を実施したことにより、音響設備の機能維持と施設利用者の利便性を図ることができました。

○碓目寺公民館大ホール反響板天井反射板変角装置取替工事

大ホール反響板天井反射板変角装置の電動マシン（減速機）からオイル漏れが発生し、そのまま使用を続けると機構そのものが使用できなくなるとともに事故の恐れが懸念されたため取替工事を実施しました。

- ・事業内容 電動マシン（減速機）の取替
- ・事業費 1,260,000円

※ この工事を実施したことにより、反響板天井反射板変角装置の機能維持を図る

ことができ、大ホールを利用者が安心して使用できるようになりました。

■スポーツ教室

市民のニーズにあった教室を開催し、継続的な運動に対するきっかけづくりとするとともに、より一層の健康増進・体力向上と心身の健全な発達をもって、明るく健康的な市民生活を提供することを目的として、各種スポーツ教室・講座事業を実施しました。

教室名	期間	実施場所	回数	対象	参加者数	内容
親子体操教室（前期）	5月21日～ 7月9日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	16組	親子と一緒に鉄棒・マット運動・跳び箱等を行い、運動の基本を習得することを目的として実施しました。
親子体操教室（後期）	10月15日～ 12月3日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	親子	23組	
親子体操教室①	6月4日～ 2月25日 隔週火曜日	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室②	6月11日～ 3月4日 隔週火曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
親子体操教室③	6月11日～ 3月4日 隔週火曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	15回	親子	25組	
シェイプアップダンス教室（前期）	5月28日～ 7月16日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	34名	様々なダンスの体験を目的に実施しました。
シェイプアップダンス教室（後期）	10月29日～ 12月17日 毎週火曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	23名	
ヨガ教室（前期）	5月24日～ 7月12日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	ヨガの基本的な呼吸法と基本ポーズの習得を目的に実施しました。
ヨガ教室（後期）	10月25日～ 12月13日 毎週金曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	30名	
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～①	10月3日～ 11月28日 毎週木曜日 (16:00～17:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	10名	学童の成長や発達過程から「動作の習熟」を主眼に置き、楽しくからだを動かすことを目的として実施しました。
ふれあいスポーツ～子ども体育教室～②	10月3日～ 11月28日 毎週木曜日 (17:00～18:00)	甚目寺 総合体育館	8回	年少	8名	
フラダンス教室	10月20日～ 12月8日 毎週日曜日	七宝 総合体育館	8回	一般	23名	フラダンスの基本的な動きを中心に振り付けを習得することを目的に実施しました。

はつらつ健康教室 ～シニア運動教室～	10月3日～ 11月28日 毎週木曜日	甚目寺 総合体育館	8回	60歳 以上	10名	高齢者が自らの体力・健康を自覚して、自発的な介護予防に向けた生活を送れることを目的として実施しました。
健康・体力づくり教室 ～総合体育館トレーニング室を利用しよう～	10月5日～ 12月7日 毎週土曜日	甚目寺 総合体育館	8回	中学生 以上	10名	トレーニング室を利用し、器具の正しい使い方、効果的なトレーニング方法の習得を目的として実施しました。
キッズエアロファンク 教室	7月24日～ 8月6日	七宝 総合体育館	8回	小学生	40名	健康や体力の維持、向上を目的として、小学生を対象にストリートダンスの要素を含む16ビートのファンクミュージックにのせて行うキッズエアロファンク教室を実施しました。
	7月25日～ 8月16日	甚目寺 総合体育館	8回	小学生	38名	
小学生スポーツ教室 (団体スポーツ教室)	7月26日～ 8月9日	七宝 総合体育館	5回	小学生	40名	健康や体力の維持、向上を目的として、小学生を対象に様々な球技を行いながら、団体で行動することの楽しさを教える教室を実施しました。
	8月14日～ 8月21日	甚目寺 総合体育館	5回	小学生	30名	

※ 各年齢層にあわせた教室を開催したことで、より多くの市民にスポーツや運動の機会を提供することができました。また、基礎的な教室を多く開催したことにより、スポーツ人口の裾野を広げ、市民の健康増進や体力向上に資することができました。

■スポーツ行事・大会

スポーツを通じた市民のふれあいや親睦、また、目的を持ったスポーツ活動や市民の更なる高次元の運動意欲を引き出すことにより、街の活性化とスポーツの振興を目指すことを目的として、各種体育事業を実施しました。

行事・大会名	期 日	曜日	実施場所	参加者数	内 容
市民ラジオ体操の集い	5月26日	日	美和小学校運動場	256名	基本的な体操であるラジオ体操をもう一度見直し、ラジオ体操にふれあう機会を持ち、広く市民に普及することを目的として実施しました。
	6月30日	日	甚目寺総合体育館	193名	
	7月28日	日	七宝焼 アートヴィレッジ	381名	
ニュースポーツ体験会	5月26日	日	美和小学校運動場	256名	1人1種目自分にあっただスポーツにチャレンジしてもらうことを目的に実施しました。
	6月30日	日	甚目寺総合体育館	193名	
	7月28日	日	七宝焼 アートヴィレッジ	381名	

市民歩け歩け会	11月17日	日	日間賀島	80名	あま市外にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。
市民ウォーキング大会	2月2日	日	甚目寺総合体育館及びその周辺	53名	あま市内にて、歩くことの楽しさを通じ、健康及び体力の保持・増進の意識を高め、継続を促すことを目的に実施しました。

※ 市民に広くスポーツに親しんでいただくことで、より一層親睦が深まり、あま市としての地域のつながりや街の活性化に資することができました。

■その他スポーツ事業

○夏休みプール開放事業

小中学校の夏休み期間中、児童生徒及び付添いの保護者を対象に、小学校プールを活用したプール開放事業を実施しました。

事業名	期日	実施場所	参加者数	内容
夏休みプール開放事業	8月4日～ 8月18日	七宝小学校 美和小学校 甚目寺南小学校	1,435名	小中学校の夏休み期間中、児童生徒の体力向上と健康増進を図るため、市内在住の小中学生及び付添いの保護者を対象に七宝小学校、美和小学校、甚目寺南小学校の学校プールを活用して実施しました。

※ プール開放事業を実施したことにより、児童生徒の体力向上と健康増進に資することができました。

○総合型地域スポーツクラブ

平成24年9月より7回の設立準備委員会と5回の設立準備運営委員会を開催し、協議を重ねてきました。その結果、平成25年12月15日（日）に設立総会が開催され、あま市で初めての総合型地域スポーツクラブが誕生しました。

- ・名称 あまスポーツクラブ（会長 石塚 建伸 氏）
- ・会員数 297名（平成26年6月1日現在）
- ・種目数 8種目（年間種目）

■社会体育施設整備事業

市民が安全かつ快適にスポーツ活動を実施できるよう、体育施設に対し、次の整備工事を実施しました。

○七宝総合体育館下水道排水設備工事

七宝総合体育館の汚水処理を浄化槽方式から公共下水道への排水に切り替える工事を実施しました。

- ・事業内容 汚水管配管工事、柵工事、既設浄化槽廃止工事
- ・事業費 4,189,500円

※ この接続工事を実施したことにより、環境配慮及び衛生的な学校の整備を進め

ることができました。

○七宝総合体育館電気設備改修工事

設備の老朽化に伴って、アリーナの天井照明設備に不良箇所があったため改修工事を実施しました。

- ・事業内容 アリーナ天井設備（昇降機、安定器、ランプ）の更新、1階ホールの天井照明器具のLEDへの切替
- ・事業費 7,628,250円

※ この工事を実施したことにより、快適な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館修繕工事

設置後20年以上経過している火災報知設備、電気錠制御盤及びシリンダーは既に交換用の部品供給が終了し、ひとたび故障すれば火災発生時の対応ができない恐れがあった。施設利用者の安全を確保するため修繕工事を実施しました。

- ・事業内容 火災報知設備更新、電気錠制御盤及び各部屋の鍵シリンダーの交換
- ・事業費 12,180,000円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館柔道場畳取替等修繕工事

甚目寺総合体育館の武道場の柔道畳は、傷みが酷く、危険性が高くなってきていたため修繕工事を実施しました。

- ・事業内容 既存畳の廃棄及び国際基準の畳の設置、投げ込み用マットの設置
- ・事業費 2,241,750円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○甚目寺総合体育館冷温水発生機修繕工事

設備の老朽化により冷温水発生機が故障し、メインアリーナ等の空調管理に支障が生じたため修繕工事を実施しました。

- ・事業内容 配管修繕、配管内冷媒ガス入替え等
- ・事業費 2,170,140円

※ この工事を実施したことにより、快適な施設環境を提供することができました。

○七宝グラウンド防球ネット修繕工事

グラウンド西出入口付近は防球ネットが一部設置されていない箇所があり、そこからボールが外に飛び出るような危険な状態となっていたため、防球ネットを延長する修繕工事を実施しました。

- ・事業内容 防球ネットの延長
- ・事業費 1,071,000円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○七宝鷹居グラウンド水路浚渫工事

グラウンド内側の側溝に溜まっていた土砂がグラウンド周囲の水路に流れ出ていたため、側溝及び水路の浚渫工事を実施しました。

- ・事業内容 グラウンド内側溝及び周囲水路の浚渫
- ・事業費 1,186,500円

※ この工事を実施したことにより、施設環境の改善を図ることができました。

○森グラウンド防球ネット等修繕工事

森グラウンド東及び南部分の防球ネットが低く、ボールが防球ネットを越えて周囲の民家やグラウンド駐車場に飛び込む状態となっていたため、東及び南部分の防球ネットを高くし、また、劣化していたベンチやバックネット後方の日除け屋根を張り替える工事を実施しました。

- ・事業内容 防球ネット張替工事、グラウンド内の日除け屋根張替工事
- ・事業費 9,292,500円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

○社会体育施設塩化カルシューム散布及びグラウンド整備工事

グラウンドの凍結防止及び土の飛散防止を目的として塩化カルシュームの散布とグラウンドの不陸を修正する整備工事を実施しました。

- ・事業内容 塩化カルシュームの散布及びグラウンド整備

※対象：七宝鷹居グラウンド、美和グラウンド及び蜂須賀グラウンド

- ・事業費 1,154,748円

※ この工事を実施したことにより、安全安心な施設環境を提供することができました。

■美和文化会館事業

下記のとおり各種講座・教室を開催し、多くの参加を得ました。

事業名	開催日時	会場名	参加者数
ゆっくりゆったり体操	6月28日(金) 14:00~15:00	多目的ホール	6名
ガーデニング教室	6月29日(土) 9:30~11:30	多目的ホール	29名
楽しいフォークダンス教室①	7月4日(木) 13:00~15:00	多目的ホール	19名
はじめてのスマホ教室①	7月5日(金) 10:00~12:00	多目的ホール	31名
はじめてのスマホ教室②	7月12日(金) 10:00~12:00	多目的ホール	27名
超ミニ盆栽教室	7月13日(土) 10:00~12:00	多目的ホール	21名
親子ふれあい映画会	7月13日(土) 14:00~15:00	大ホール	120名
やさしいヨガ教室	7月17日(水) 10:30~12:00	多目的ホール	11名

和紙ちぎり絵教室①	7月18日(木) 10:00~12:00	多目的ホール	9名
太極拳教室	7月24日(水) 10:30~12:00	多目的ホール	10名
珈琲の淹れ方教室	7月30日(火) 13:30~15:30	多目的ホール	22名
本当の幸せを見つける カラーレッスン	9月20日(金) 10:30~12:00	多目的ホール	15名
セルフメンター入門	9月27日(金) 10:00~12:00	多目的ホール	21名
はじめてのスマホ教室③	10月4日(金) 10:00~12:00	多目的ホール	29名
はじめてのスマホ教室④	10月11日(金) 10:00~12:00	多目的ホール	27名
暮らしに役立つ筆ペン・ボール ペン①	10月17日(木) 10:00~12:00	多目的ホール	23名
幼児からの書き方	10月20日(日) 10:00~12:00	多目的ホール	18名
中高年のさわやかヨガ①	10月9日・23日(水) 10:30~11:45	多目的ホール	13名
中高年のさわやかヨガ②	11月13日・27日(水) 10:30~11:45	多目的ホール	13名
楽しいフォークダンス教室②	11月14日・28日(木) 13:30~15:30	多目的ホール	10名
ハイキング	11月16日(土) 9:00~12:00	多目的ホール	8名
クリスマスコンサートのための ワークショップ	12月3日(火) 19:00~21:00	大ホール	43名
中高年のさわやかヨガ③	12月12日(木) 10:30~11:45	ホワイエ	13名
楽しいフォークダンス教室③	12月11日(水) 13:30~15:30	多目的ホール	10名
クリスマスコンサート&オープン リハーサル	12月14日(土) 15:00~17:00	大ホール	206名
あま市民絵画展	12月6日(金)~ 12月15日(日)	アートスペースM	43名
和紙ちぎり絵教室②	12月19日(木) 10:00~12:00	アートスペースM	8名
暮らしに役立つ筆ペン・ボール ペン②	12月19日(木) 10:00~12:00	多目的ホール	20名
超ミニ盆栽・正月用	12月20日(金)~ 10:00~12:00	多目的ホール	13名
中高年のさわやかヨガ④	1月15日・29日(水) 10:30~11:45	アートスペースM	12名
中高年のさわやかヨガ⑤	2月12日・26日(水) 10:30~11:45	アートスペースM	10名
暮らしに役立つ筆ペン・ボール ペン③	2月20日(木) 10:00~12:00	多目的ホール	21名
ワンコインコンサート	3月8日(土) 11:00~12:00	大ホール	64名
落語会(桂三輝)	3月15日(土) 14:00~15:00	多目的ホール	75名

珈琲の淹れ方教室	3月20日(木) 13:30~15:30	多目的ホール	17名
中高年のさわやかヨガ⑥	3月12日・26日(水) 10:30~11:45	アートスペースM	12名

※ 講座を通じて、自分の趣味の充実を図り、仲間作りができました。

■美和図書館事業

下記のとおり企画展示や各種講座・講演会、読み聞かせ会などを開催し、図書館利用の促進を図りました。

○企画展示

事業名	実施内容	期間	会場
企画展示	郷土玩具展「再会 おろち君！(3土人形の蛇など)」	4/1~5/31	図書館内展示ケース
	郷土玩具展「再会 おろち君！(4蛇の土鈴)」	6/1~7/31	
	「七宝焼展」 七宝焼アートヴィレッジの協力を得て、七宝焼き作品の展示を実施した。	8/3~9/29	
	「甚目寺観音展」 甚目寺観音の協力を得て、甚目寺観音の由来についてのパネル展示を実施した。	10/3~11/30	
	郷土玩具展「再会 お馬さん！(1張り子の馬)」	12/3~1/31	
	郷土玩具展「再会 お馬さん！(2木藁の馬)」	2/1~3/30	

※ 企画展を開催したことにより来館者が文化に接する機会を提供しました。

○図書館事業

事業名	実施内容	回数	参加者	会場
ちくちく手づくりの会	読み聞かせやブックトークの後に絵本やおはなしにでてくるキャラクター等を針と糸で手作りする。	3回	延57名	美和文化会館 会議室
読書ラリー	小中高生を対象に、本を借りるとポイントが増え、たまった点数に応じ景品を渡す。	7/2~ 9/1	721名	美和図書館内
講演会	演題「碑石からさぐる美和の歴史」 講師：片桐欣也 氏	1回	45名	美和文化会館 多目的ホールB・C
ライブトーク	演題「絵を描く・本を読む」 講師：つつみやれい 氏(絵本作家) 鈴木潤 氏(子どもの本専門店店主)	1回	32名	美和文化会館 多目的ホールA・B
絵手紙教室	絵手紙で年賀状を作成。 講師：近藤喜奴子 氏	1回	20名	美和文化会館 多目的ホールA

秋の図書館まつり	ブックリサイクル	本の有効活用を図るために、一般家庭で不用になった本や当館所蔵の廃棄した雑誌をボランティアの協力を得て無償で提供	1回	約550名	美和文化会館 ロビー
	大型紙芝居	幼児・児童を対象に大型紙芝居を行った。	1回	28名	美和図書館 おはなしコーナー
	折紙遊び	図書館ボランティアとともに幼児・児童を対象に折紙遊びを行った。	1回	70名	美和文化会館 ロビー
七夕飾り	図書館来館者に短冊や折紙飾りを笹に飾ってもらった。	7/2～ 7/7	延約 100 名	美和図書館内	
製本教室	製本の仕組みを学びながらオリジナルの本を作成した。	1回	15名	美和文化会館 会議室	
図書館見学	あま市立美和小学校2年生	1回	22名	美和図書館内	
職場体験学習	・七宝北中学校2年生4名 ・七宝中学校2年生4名 ・美和中学校2年生4名 ・甚目寺中学校2年生4名	4回	16名	美和図書館内	
学習室開設	夏休みの学生のための学習室を開設した。	7/20 ～ 9/1	延753名	美和文化会館 アールスペースM	
1日図書館員	市内小学4年生～中学3年生を対象に図書館の仕事を体験してもらった。	2回	延12人	美和図書館内	
もこもこのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居等	47回	延1,762名	美和図書館 おはなしコーナー	
グー・チョコキ・パーのおはなし会	絵本の読み聞かせ、わらべうた、紙芝居、工作、お手玉あそび、手あそび等	17回	延524名	美和図書館 おはなしコーナー他	
お楽しみおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等	8回	延112名	美和図書館 おはなしコーナー	
出張読み聞かせ	絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた、手遊び等	48回	延1,489名	・子育て支援センター (12回、延325名) ・美和児童館(集いの広場) (12回、延161名) ・篠田保育園 (12回、延551名) ・正則保育園 (12回、延452名)	

乳児健診読み聞かせ	3・4ヶ月健診とBCG予防接種時の親子に対して読み聞かせとわらべうたを歌う。また、読み聞かせの重要性の説明や図書館等の利用案内を行った。	12回	延357名	美和保健センター
おはなしをきく会	年長児以上を対象にストーリーテリングを行った。	2回	延28名	美和図書館 おはなしコーナー

※ 各種事業、読み聞かせ等を通じて、本を読む楽しさ伝えることができました。

(3) 学校給食センター

■学校給食事業

学校給食センター課では、各小中学校や様々な機関と連携を図り、食育を推進しました。

○学校給食センター課主催事業 親子料理教室

給食で人気の献立や、家庭で簡単に作ることのできる料理を題材とした調理実習を通して、調理の楽しみを体験し、学校給食や食に対する理解を深めました。

また、親子で調理をすることで、家庭での食に対する関心を高めるために、親子料理教室を開催しました。

事業名	場 所	開催日	受講者数	申込者数
親子料理教室	七宝公民館	7月30日	18組45名	39組
親子料理教室	美和公民館	12月25日	11組28名	34組

※ 児童は料理教室を通して、調理をすることの楽しみを味わうことができ、保護者と一緒に作ることにより、家庭での食に対する興味も高め、家族の一員としての意識を向上させることができました。

○学校における食に関する指導の実施

児童生徒の食への興味・関心を高め、食に関する知識の向上を目指し、栄養教諭・学校栄養職員が各学校にて、学級担任とTT授業を行ったり、給食時に給食を生きた教材として指導しました。また、毎月給食センターから献立表や給食だより、盛り付け図などの配布をし、給食を通して食への関心を高めました。

※ 学校給食を考えている栄養教諭・学校栄養職員が直接話すことにより、児童生徒の食への興味・関心を高めることができ、各学級を巡回し、児童生徒が食べている状況を見たり、話を聞いたりすることで現状を把握し、献立に取り入れることができました。

○学校における健康教育への参加

各学校の健康教育の取組に参加しました。

- ・学校保健委員会 七宝小学校、伊福小学校、甚目寺西小学校
- ・給食試食会 七宝小学校、宝小学校、伊福小学校、秋竹小学校、美和小学校、正則小学校、篠田小学校、美和東小学校、美和中学校、甚目寺小学校、甚目寺南小学校、甚目寺東小学校、甚目寺中学校

※ 栄養教諭・学校栄養職員が関わることで、食を話題として取り上げる機会が

増え、児童生徒・教職員が食への関心を持つことで、保護者の興味が高まり、家庭での食に対する関心を期待することができました。

○学校給食センター活動状況

開催日	行事名
4月3日(水)	5月分献立検討会
4月15日(月)、16日(火)	5月分物資選定委員会
5月1日(水)	6月分献立検討会
5月16日(木)、17日(金)	6月分物資選定委員会
5月31日(金)	7月分献立検討会
6月13日(木)、14日(金)	7月分物資選定委員会
7月1日(月)	第1回学校給食センター運営委員会
7月3日(水)	9月分献立検討会
8月8日(木)	9月・2学期分物資選定委員会
9月3日(火)	10月分献立検討会
9月13日(金)	10月分物資選定委員会
10月2日(水)	11月分献立検討会
10月16日(水)	11月分物資選定委員会
11月1日(金)	12月分献立検討会
11月14日(木)	12月分物資選定委員会
12月4日(水)	1月分献立検討会
12月16日(月)、17日(火)	1月・3学期分物資選定委員会
12月18日(水)	2月分献立検討会
1月17日(金)	2月分物資選定委員会
1月31日(金)	3月分献立検討会
2月14日(金)	3月分物資選定委員会
2月25日(火)	第2回学校給食センター運営委員会
2月28日(金)	4月分献立検討会
3月13日(木)、14日(金)	4月・1学期分物資選定委員会

■学校給食センター整備事業

安全・安心に学校給食を提供するために、次の整備工事を行いました。

○七宝・美和学校給食センターオートミックスボイル更新工事

七宝学校給食センターにおいては入替から18年が経過し、美和学校給食センターにおいても入替から17年が経過し部品の供給も無くなり老朽劣化が著しいため、更新工事を行い、施設整備に努めました。

- ・事業内容 オートミックスボイル更新工事
- ・事業費 18,795,000円

※ この更新工事を実施したことにより、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○美和学校給食センタースポットエアコン交換工事

洗浄室のスポットエアコン2台が15年経過し、部品供給がなく修理不可能なため交換をしました。

- ・事業内容 スポットエアコン交換工事
- ・事業費 1,096,200円

※ 交換工事を実施したことにより、夏場における熱中症対策となり、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○美和学校給食センター排水処理施設調整層設備取替工事

排水処理施設調整層のブロワーポンプの部品供給がなく修理不可能なため取替をしました。

- ・事業内容 排水処理施設調整層設備取替工事
- ・事業費 709,800円

※ この取替工事を実施したことにより、衛生的に排水処理ができ、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○七宝学校給食センター下処理室設置工事

食材料の検収・保管及び衛生的な管理のため、下処理室の設置工事をしました。

- ・事業内容 下処理室設置工事
- ・事業費 581,700円

※ この設置工事を実施したことにより、食材の衛生面と安全な保管場所を確保し調理員の作業環境を改善して、作業の能率向上を図ることに伴い、安全・安心な学校給食を提供することができました。

○甚目寺学校給食センター外壁等修繕工事

昭和49年から39年が経過し、下処理室・検収室の外壁にひびが入り塗装も剥離していることにより雨漏りがして衛生的にも良くない為、修繕工事をしました。

- ・事業内容 外壁等修繕工事
- ・事業費 462,000円

※ この修繕工事を実施したことにより、雨漏りも解消し、安全・安心に学校給食を提供することができました。

○七宝学校給食センター空調機器取替工事

事務室の空調機器が平成5年の設置から20年が経過し、部品供給がなく修理不可能なため取替をしました。

- ・事業内容 空調機器取替工事
- ・事業費 223,650円

※ この工事を実施したことにより、空調システムの安定した機能維持を図ることができ事務の効率を上げることができました。

7. 学識経験者による意見

学識経験者名	平尾 理（元佐織中学校長、あま市内在住）
--------	----------------------

ブラジルW杯における日本人サポーターの清掃活動が賞賛された。わが国の生涯学習への評価である。あま市においても、ボランティアやコミュニティ活動が至る所で展開されている。これは、市民の文化度の高さを示しており、地域がもつ教育力の活用が期待される。

一方、青少年においては新たな課題が指摘されている。予想をはるかに超えた情報通信技術の進展は、子どもたちの成長に影を落としている。彼らは、携帯電話をはじめとするIT機器への依存度を過度に高めるあまり、睡眠不足や学習への集中度低下に陥ってしまっているという。また、豊かな人間関係を築く経験までも奪われるという事例も多く、少年期に育まれるべき基本的な生活習慣は根こそぎ揺さぶられている。

この直面する危機に対して警鐘を鳴らすためにも、教育委員会の指導の下、市民レベルから問題提起されることを期待したい。

○ 学校教育

1 教育相談センター事業について

学校教育支援・教育相談活動・学校不適応生徒への支援を重要な活動の柱に据えた事業は、大いに評価されるものである。人的・物的配置はもとより、所員の各小中学校への積極的な関わりをはじめとした活動内容は創造的かつ実用的であり、バランスのよい学校づくりの一翼を担っている。とりわけ、この事業に息づく個を大切にす構えや人権尊重の精神が、幅広い活動につながっていることは特筆に値する。

2 あま教師塾・教師力パワーアップ研修について

青年教師や学校を牽引していく立場にある教師に対して研修機会を設ける市独自の取り組みである。前者は、授業の指導法・学級経営・教師の使命感等、多岐にわたる教師の資質向上をめざすものである。教育界も熟練教師が退職していく中、その技を引き継ぐ機会を失っていることから、これらの研修機会は貴重である。後者は、危機管理能力の育成や時々に応じた研修を進めており、学校現場における専門的なリーダー育成に役立っている。

ただ、教員の研修は本来学校が主体となるべきものである。校長はじめ、指導的立場にある教職員は、日々の生きた研修の重要性を肝に銘じておくべきである。同時に、教育委員会としても学校現場からニーズに耳を傾け、意義ある研修を続けてほしい。

3 教育人材バンク「学びの道案内人」と出前授業について

理論的学習は、実学（社会生活に実際に役立つ学習）の裏付けがあつてこそ、興味・

関心が高まるものである。動機づけにより、学びの意欲がわき、「おもしろい」学習が始まるのである。教育人材バンクは、まさしく授業支援であり、イベント等での人材活用だけでなく、教科・領域に位置づけるなど、その有効的な活用法を模索してほしい。

4 学校支援会議について

現代の学校は多くの課題を抱えている。とりわけ、学校の安心安全が脅かされる事案については深刻である。学校は懸案事項について、教育委員会と連携して対応するのが通常であるが、理想的な解決に至ることは少ない。

この支援会議の趣旨は、関係諸機関が学校の現状を理解し、是々非々に判断し、問題解決を図るものである。これによって、学校は自信を持ってバランス感のある対応がとれるのである。よって教育現場においては積極的な活用を促したい。

5 特色ある学校づくり推進事業について

各校とも児童・生徒の現状を見つめた内容である。この種の事業は推進者のニーズが成否の鍵を握るといわれるが、「実社会へ出るための人間力づくり」や、今年集大成を迎える「E S D（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）」を柱に据えた学校づくりは興味深い。今後はさらに焦点を絞り、小中連携を視野に入れ、学校と地域がともに継続できる活動を期待したい。折しも、今年採択された「あまっ子宣言」はこの事業の指針となろう。

6 小中学校適正規模見直し検討事業について

学区の見直しについては、地域の意見を十分考慮して進めるべきである。ただし、議論には常に児童・生徒の未来が語られなければならない。地域・行政はこのことを念頭に置いて推進し、未来のあま市民である子どもたちの成長を阻害することなく、十分審議を重ねてほしい。

○ 生涯学習

あま市では数多くの社会教育事業が展開されており、「あま市教育立市プラン」の基本理念である「多様化する価値観の中で、子どもと大人が共に生き、一人一人がいきいきと輝く生涯学習社会の創造」が着実に歩を進めている。今後は、「教育立市あま」を語る上で、地域に根づいた象徴的な事業の育成を望みたい。それには、家庭教育・社会教育・学校教育を総括する生涯学習のビジョンと活動に負うところが大きい。

また、各地区の公民館等に若い世代の顔が見られるような工夫や、市の活性化を促すためにも男性の参加意欲をかき立てる画期的な事業づくりを期待したい。

○ 学校給食センター

社会の「食」についての関心は高く、学校給食の役割は多岐にわたる。食事の提供だけでなく、栄養教諭等が学校に出向いて行う「食に関する指導」、市民とともに活動す

る「親子料理教室」、さらには子どもたちの「食物アレルギー対策」等々、きめ細やかな活動が求められている。このように、センターが重点に置く「児童・生徒が主体的に食を選ぶ能力を育てる活動」は、様々な機会を捉えて市民に情宣されるべきである。

今後もあらゆる部局と連携して、積極的に「食育」を推進することを期待したい。

学識経験者名	大西 純滋（あま市まちづくり委員会委員、秋竹小学校評議員）
--------	-------------------------------

あま市も合併し4年が過ぎ、平成24年4月に策定された「あま市教育立市プラン」も3年になろうとしている。諺にあるように「石の上にも3年」あま市の教育立市理念の実現も現実味をおびてきた。まさに、平成26年4月に市内の小中学生が案をもちより作成した「あまっ子宣言」が発表され「あまっ子」たる子どもの育成を目指し確実に歩んでいると思われる。

一方、世の中に目を向けると多くの問題が目に飛び込んでくる。海外においては戦闘行為の続出、国内では手本となるべき大人による学校帰りの子どもの誘拐など暗澹たる状況である。また、教育に関しても、教育委員会制度の改革をはじめ、6・3・3制の見直しや就学年齢の引き下げなど話題に上がっている。しかしながら、教育こそが未来への有効な投資であり、あま市としては1人でも多くの「あまっ子」の育成に尽力してほしい。その中での教育委員会の取り組みについて所見を述べさせていただき報告書としたい。

○ 学校教育〔特色ある学校づくり〕について

従来、魅力・特色ある学校づくりを「市内同一の横並びの目標」で目指していたが今回視点を換え、「やれる学校から、やれることからの学校」に目標を換え、学校同士の真剣味を前面にだすという新しい取り組みに大きな価値を見出した。この事業は、各学校の経営を従来の画一的なものから大きく変貌し、学校の発想・自主性により学校生活を活性化する可能性を感じさせる。教育活動の新しい価値として、しばらくこの取り組みに注目したい。

○ 小中学校適正規模等見直しについて

学区の抜本的な見直しについては、地区住民の理解を得ることが難しく振り出しに戻ってしまったことは大変残念である。近隣の住民だけでなく学校の関係者やPTA役員との話し合いを多く設ける必要があったのではないか。この事業については検討委員会・関係者の勇気が必要と考える。あま市においては小中学校あわせて17校あり、児童生徒数が多い学校では先生方の目が届き難いこともあり、児童生徒の内でもストレスをもつ子どももいるのではないか。学区の見直しについては歴史・地域性・人間関係等様々な問題を含んでいるが、適正な規模への再編を優先すべきと考える。問題解決に向けた教育委員会の努力を求める。

○ 生涯学習について

各種の講座・教室・行事を行っているが、住民感情として未だ三町を意識する傾向があり、何かにつけて垣根がある。そうした中、総合型地域スポーツクラブを設立したこ

とにより、地域のコミュニティが広がり、市民が触れ合える機会が増えた。あま市における人間関係づくり、地域のつながり、健康増進などに有益であると考えている。市民から喜ばれ、郷土愛が育つようなクラブになるよう継続して取り組んでいただきたい。

○ 学校給食について

児童生徒および保育園児にとって、給食の役割は重要である。会食を通じて味わうのは食だけでなく、同じ釜の飯を食う仲間としての絆もある。今後ともおいしくて安心安全な給食を提供していただきたい。また、3つのセンターで、様々な工事が行われている。かなりの老朽化が伺われる。新給食センターが建設されると聞いた。未来志向の効率的な施設になることを望む。また、栄養教諭・学校栄養職員については現センターにおいて積極的に実施されている「食育」「健康教育」重視の観点から17校の巡回指導が可能な数の人員を配置していただきたい。